

## クラブ会長・クラブ幹事殿

謹啓 新年度がスタートして既に例会を3回、4回と重ねられ  
新会長の醸し出す新しい雰囲気は例会場を覆っていることと存じます。

私も7月1日の東京でのガバナー会、10日の諮問委員会を終え 17日のクラブ会長会議にて会長の皆様に再会でき、新しく2640RLIを開催する運びになり、ご報告が出来ましたこと大変嬉しく思っております。

当地区パストガバナー中島治一郎様を経てKalyan次期RI会長からのメールで、日本の会員数減少の傾向に歯止めが掛からないことを憂えて居られて(1)日本での会員減少の理由、(2)会員の平均年齢を下げる良い手立て、(3)女性会員の数を増やせないか、(4)より若い青年男女を会員にするには如何すべきか? と言うような事柄に対する答えを模索しておられることが分かりました。

8月は会員増強およびロータリー拡大月間であります。

21世紀のロータリーはどこへ行く?

不況が及ぼす影響で時間的経済的余裕のなさ、入会者の減少、退会者の増大、組織に対する信望の低下に続いてクラブにいることの意義、クラブに絶望した、クラブに魅力を感じなくなった、以上が会員減少の大きな原因と総括できるでしょう。

以上を鑑みれば、ロータリー哲学を忘却して親睦のみに重点を置く形骸化したクラブ運営、マンネリ化した例会運営、すべては内部事情によるものであって、ロータリアンを教育するプログラムの充実が急がれます。したがって今年度は前半に地区指導者育成セミナー、後半に2640RLIを開催することを決めました。ロータリアン、国際ロータリー、ロータリー・クラブ、が「ロータリーとは何か?」を問い続けるためにロータリーについて考える機会を持ちたいと思います。2011年1月2月3月パートI~IIIを予定しております。クラブ会長様のご推薦するロータリアンのご参加をお待ちしております。

公式訪問を続けております。既に訪問させていただいたクラブ会長・クラブ幹事の皆様方、大変ありがとうございました。また8月中に訪問させていただくクラブ会長・クラブ幹事の皆様方にお目にかかれますことを楽しみにしております。

敬白

国際ロータリー第2640地区  
ガバナー 米田真理子

2010.8.1